

秩父盆地で太古の海の証を見つけよう！

令和7年度

こちちぶわん

古秩父湾

アート&書工芸作品募集

詳しい応募方法は、裏面をチェック！

令和6年度写真部門最優秀賞「悠久の刻」 撮影：関根一正さん（新田橋の礫岩露頭）

①アート部門

作品テーマ 「古秩父湾」に関連するアート作品

賞品 UCギフトカード

最優秀賞（1名）10,000円分

会長賞（1名）5,000円分

優秀賞（3名）3,000円分



「パレオパラドキシア」
古秩父湾を代表する化石動物

②書道部門

「大野原パレオパラドキシア化石産地」

or

「新田橋の礫岩露頭」

テーマ題字

賞品

UCギフトカード

+最優秀賞はのぼり旗のデザインに！

最優秀賞（各1名）10,000円分

会長賞（各1名）5,000円分

優秀賞（各3名）3,000円分



※イメージ

古秩父湾とは？



今からおよそ1600万年前、秩父には「古秩父湾」という海がありました。秩父盆地では、当時の海に暮らした生きものの化石が数多く見つかっており、当時の地層を観察できる貴重な場所も残されています。

平成28年3月1日、「古秩父湾堆積層及び海棲哺乳類化石群」が国の天然記念物に指定されました。令和8年3月1日に指定から10周年を迎えます。



古秩父湾の解説はコチラ

募集期間

2025 10/18 SAT

2025 12/21 SUN

結果発表

2026
3/1

指定から10周年の記念日に発表

令和6年度書道部門最優秀作品

前原の不整合

相沢サダ子さん

大木の不整合

鯨井梅さん

主催：秩父地区文化財保護協会古秩父湾作業部会

後援：秩父まるとジオパーク推進協議会、秩父市教育委員会、横瀬町教育委員会、皆野町教育委員会、長瀬町教育委員会、小鹿野町教育委員会、埼玉県立自然の博物館

募集テーマ

①アート部門

国天然記念物「古秩父湾堆積層及び海棲哺乳類化石群」に関連するアート(大きさA3(297mm×420mm)以下の写真、絵画、切り絵、貼り絵、イラストなど)の平面作品

②書道部門

課題語句は「大野原パレオパラドキシア化石産地」
または「新田橋の礫岩露頭」

「古秩父湾(公式)」
Instagram アカウント



応募方法

▼郵送・直接持込の場合▼

①書道作品の場合は原本サイズ指定なし。アート作品の場合は原本またはプリントアウトした作品、写真については写真用紙にプリントアウトしてください。
アート作品のサイズはいずれもA3までとします。

②チラシ下の応募申込書に必要事項を記入。

③作品と応募申込書を封筒に入れ、下記の場所に持込むか、埼玉県立自然の博物館まで郵送してください。
注意:応募された作品は返却いたしません。

▼Instagramで応募の場合▼

①Instagramアプリをダウンロードし、アカウントを作成する。

②「古秩父湾(公式)」のアカウントをフォローする。

③画像にタグ【@ko_chichibu_wan】を、コメントにハッシュタグ【#古秩父湾2025】を必ず入力し、投稿する。
アートの方→タイトル、写真は撮影場所をコメントに記入
(過去に撮影した写真でも可・枚数制限なし)
書道の方→作者名(ペンネームでも可)をコメントに記入

持込先

・秩父市教育委員会文化財保護課(8:30-17:15 平日のみ)
住所:秩父市熊木町8-15歴史文化伝承館2階

・横瀬町歴史民俗資料館(9:00-16:30 月曜・祝日休館)
住所:横瀬町横瀬2000

・横瀬町町民会館(8:30-16:30 月曜・祝日を除く)
住所:横瀬町横瀬2000

・おがの化石館(9:00-16:30 火曜休館)
住所:小鹿野町下小鹿野453

・小鹿野文化センター(8:30-17:15)
住所:小鹿野町小鹿野167-1

・埼玉県立自然の博物館(9:00-16:30 月曜休館)
住所:長瀬町長瀬1417-1

入賞者には

・郵送・直接持ち込みの場合は、メールまたは電話でご連絡します。Instagramからの投稿者にはダイレクトメッセージにてご連絡します(令和8年2月中を予定)。

・Instagramでの入賞については、入賞後に作品のデータまたは原本の送付を依頼します。

・公式アカウントに成りすまし、投稿者に偽の入賞通知を送る事例が多発しているため、入賞の通知を受け取った方は埼玉県立自然の博物館自然担当(下記連絡先を参照)までご連絡をお願いします。

・作品は返却いたしません。

◆応募時の注意事項◆

【アート&書コンテスト共通】応募作品の著作権は撮影者・作者に帰属しますが、本コンテストに応募された時点で、秩父地区文化財保護協会古秩父湾作業部会が広報・PR・プロモーション・各種イベント等の制作等の用途においてすべて無償で使用する事を許諾したものとします。／本コンテストを含む、応募者のInstagram、その他SNS上での投稿内容や、それに関わるトラブル、当コンテストの応募によって発生した利用者もしくは第三者の侵害に関して、秩父地区文化財保護協会古秩父湾作業部会は一切の責任を負いません。／第三者との紛争が生じた際は、応募者自身の責任と費用負担によって解決していただきます。／入賞者の個人情報は、データの受取りや賞品発送とそれに伴う連絡のみに利用し、他の用途には利用いたしません。／18歳未満の方が応募した場合は、保護者の同意を得ているものとみなします。／入選後の諸連絡を責任を持って行える場合に限り、同居家族の代理応募も可とします。ただしアート部門のうちの写真作品については、撮影者の応募に限ります。／入賞作品は、埼玉県立自然の博物館・秩父市・横瀬町・皆野町・長瀬町・小鹿野町にて巡回展示されます(令和8年度)。

【アートコンテスト】応募作品については、すべての著作権を有しているオリジナル作品に限ります。／肖像権、著作権その他の諸権利等の権利侵害がないよう、作品の制作や写真の撮影を行ってください。／撮影者以外の個人が特定される写真は事前に許諾を得るなど、肖像権の侵害等が生じないよう参加者本人の責任において対応してください。／露頭(崖)を破壊しないでください。／参加者が使用した写真が許可を得ていない他者のものと判明した場合、入選は無効となります。

【書コンテスト】作品サイズは任意ですが、のぼり(およそ600mm × 1800mm)としてデザインされることを踏まえ、筆字の縦書きとしてください。／署名・落款の有無は任意ですが、のぼりとしてデザインする際には、表示の有無については主催者側が判断します。

◆免責事項◆

※本企画はInstagramのサービス提供者(Meta Platforms, Inc)及び関連企業、団体の提供・協賛によるものではありません。

※すべての参加者はInstagramの利用規約を遵守するものとします。 ※予期せぬ障害や天災等が発生した場合、本企画は予告なく中止する場合があります。

問合せ先(郵送先)

埼玉県立自然の博物館

〒369-1305 住所:埼玉県秩父郡長瀬町長瀬1417-1
Tel: 0494-66-0407 Fax: 0494-69-1002 E-mail: t6604044@pref.saitama.lg.jp

キリトリ線

令和7年度古秩父湾アート&書コンテスト 応募申込書

キリトリ線

応募部門	いずれかに○をしてください。 アート ・ 書	ふりがな 氏 名	ペンネーム等でも可。
タイトル ※アートの場合のみ			
撮影場所 ※写真の場合のみ	住 所	〒 ー	
電話番号	メー ル ア ド レ ス		

注意: 応募された作品は返却いたしません。

知ってほしい！ こちちぶわん 古秩父湾

埼玉県西部に広がる秩父地域には、約 1500 万年前まで存在した、太古の海、「古秩父湾」で堆積した地層がみられます。古秩父湾は、今から約 1700 万年から 1500 万年前に広がっていた海。この海の地層（古秩父湾堆積層）がみられる場所 6 か所とその地層から産出した化石（古秩父湾海棲哺乳類化石群）9 件が国指定天然記念物に指定されています。

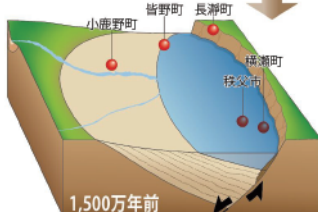
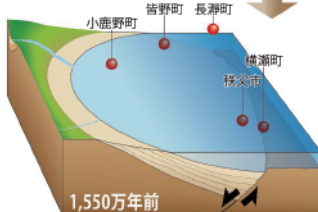
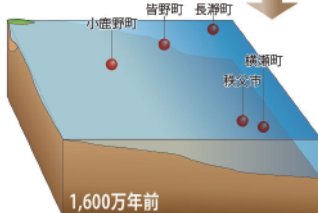
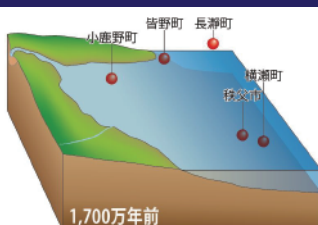


古秩父湾の時代と環境の移り変わり 古秩父湾の4つの時代のストーリー



約2500万年前、大陸の一部が分裂を始め、分裂した大地と大陸の間に海が入り込み、日本海ができました。その後も約1500万年前までの間、日本海は拡大し続け、日本列島は、約1000キロ移動してほぼ現在の位置にたどり着きました。

秩父地域にはその当時、「古秩父湾」と呼ばれる、東側に開いた海が広がっていました。現在の秩父盆地には、その時代の海底に堆積した地層が分布しています。



約 1700 万年前

古秩父湾の誕生

現在の秩父盆地の東側の山はなく、浅い海が広がっていました。前原の不整合・犬木の不整合で見られる地層が堆積した時代です。

約 1600 万年前

深海の時代

日本列島全体が広く海に被われる時期。古秩父湾も深海の環境になりました。取方の大露頭で見られる地層がたまった時代です。

約 1550 万年前

浅海の時代

再び浅い海が広がるようになり、多くの海棲哺乳類が生息するようになりました。多くの化石を産出する地層で、ようばけはこの時代の地層です。

約 1500 万年前

古秩父湾の消滅

古秩父湾の東の陸域が隆起して、湾はとじ込められて消滅します。この際に隆起した地域が現在の外秩父山地の原型となっています。

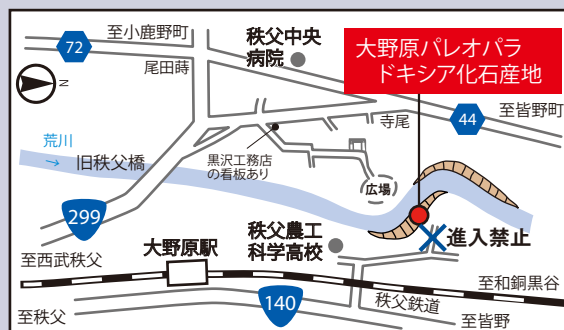
おおのはらぱれおぱらどきしあかせきさんち 大野原パレオパラドキシア化石産地

1972年に発見され、1975年、1977年に秩父自然科学博物館(当時)により発掘されたパレオパラドキシア大野原標本の産出地です。大野原標本は、頭から腰の骨までがほぼ完全に保存されており、岐阜県土岐市より産出した泉標本と組合わせて全身骨格の復元が行われました。この復元骨格は現在県立自然の博物館等に展示されています。



注意

指定地は文化財保護法により保護されているため、化石採集は出来ません。また、指定地上部の土地は立ち入り禁止となっていますので、見学の際は対岸の広場から御覧ください。



あらたばしのれきがんと 新田橋の礫岩露頭

横瀬町のウォーターパークシラヤマには、横瀬川に面してゴツゴツした礫岩の見られる崖が露出しています。よく見ると角のとがった角礫が多く含まれていることが分かります。この角礫岩は、現在の外秩父山地周辺が隆起した際に古秩父湾に流れ込み、海を埋め立てた堆積物です。これにより古秩父湾は消滅したことから、この地は古秩父湾の終焉を示す象徴的な場所です。



注意

露頭からは度々落石が発生します。周囲にコースロープが設置されていますので、コースロープの外側から、頭上に注意して見学してください。

